

北海道大学病院

スポーツ医学診療科研修



2012年2月26日～28日に、北海道札幌市にある北海道大学病院の安田教授の手術見学に行ってきました。

研修メンバーは、江本院長、池田理学療法士、樋口看護師です。

こちらの大学病院は、8診療科21中央診療施設、病床数946床の大病院です。

北海道大学は、全学部・大学病院などが一つの敷地内にあり、非常に広く、ポプラ並木など外観がとてもきれいです。

安田 和則 (やすだ かずのり) 教授



北海道大学大学院医学研究科

- 略 1976年 北海道大学医学部卒業
- 歴 1985年 医学博士 (北海道大学)
- 1991年 米国Vermont大学整形外科にてスポーツ医学を研究 (文部省在外研究員)
- 1998年 北海道大学医学部生体医工学講座 教授
- 1999年 医学部附属病院スポーツ医学診療科 科長
- 2000年 北海道大学大学院医学研究科
運動機能再建医学分野 教授
- 2009年 北海道大学大学院医学研究科長兼北海道大学

● スポーツ医学診療科の医局前にて

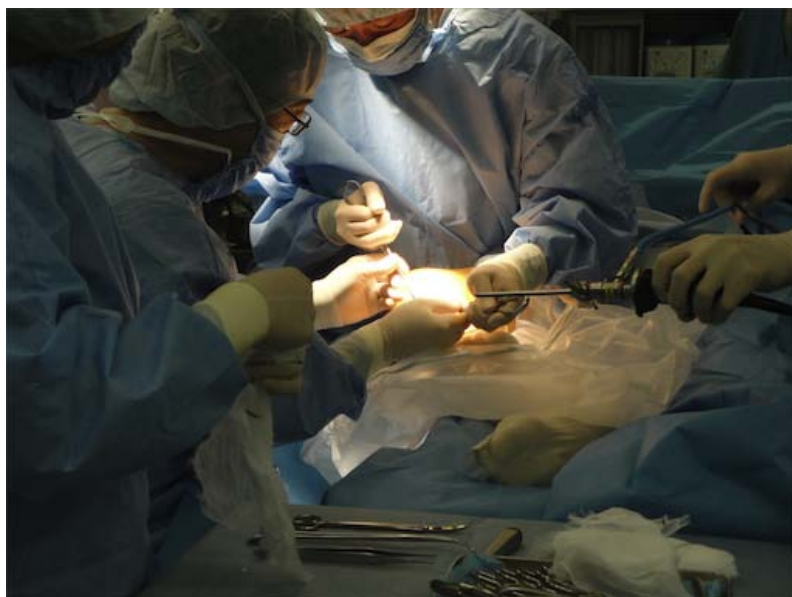


こちらの研究施設では、さまざまな精密実験機器が多数使用されており、ここでの研究成果が数多く世界に発信されています。

● ACL再建術の手術見学

安田教授は、ACL再建術で解剖学的二重束再建術を世界に広めた代表的なドクターであり、そのドクターの前十字靭帯再建手術を見学できる機会を頂きました。

この教室は安田教授を中心に膝靭帯再建手術はもちろん、基礎研究にも非常に力を入れている教室で基礎から臨床までとても勉強になりました。



ACL再建術は最新の考え方である「**Remnant Preserved ACL Reconstruction Technique**」の手法で手術は行われました。

この方法は損傷しているACLを温存した状態で、残された靭帯の繊維束に再建靭帯を通すことで、より解剖学的な位置に再建する方法です。

手術室内には、沢山の研修スタッフ、北大医学部生、ドクター達で溢れている状況でした。しかし大きなモニターが2台設置されており、術野の状況が鮮明に映し出され、進行状況が把握し易くなっていました。



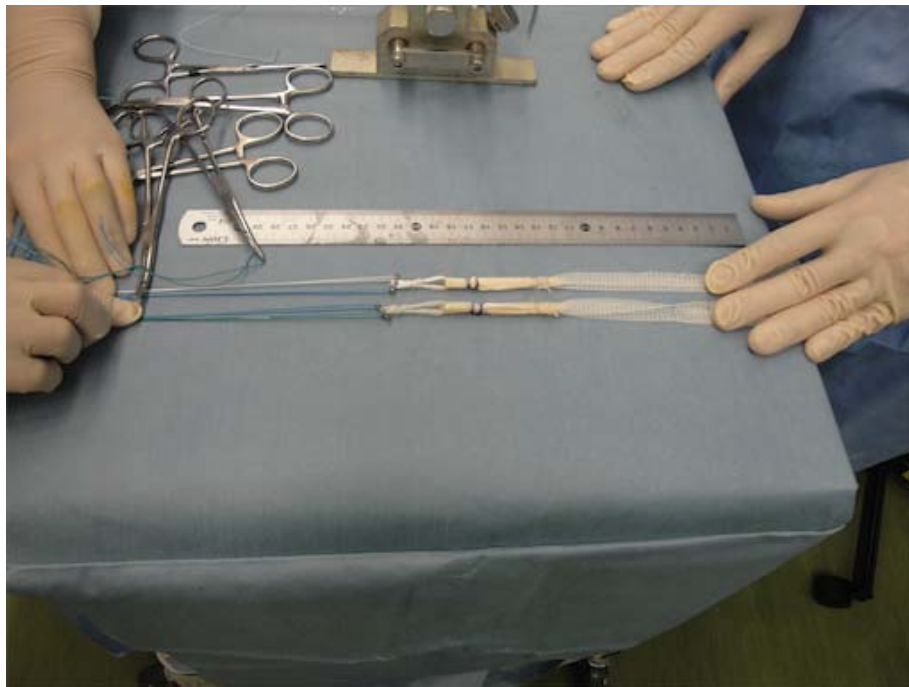
● ACL グラフトを作成中
安田先生の教室では、再建術に使用するグラフトを作成する専門家を“ひも師”と呼んでいるそうです。



靭帯は鷲足の腱を採取し、グラフト作成されています。

● グラフト～二重束

膝屈筋腱と人工靭帯を組み合わせたハイブリッド型移植材料を独自に開発され、これによってより高い力学的強度をもつ靭帯を作ることができるようになり、前十字靭帯や後十字靭帯の再建にも応用されていました。



● 江本院長の講演の風景



見学が終了し午後から安田教授のセミナーに参加することができました。ここでは江本院長も講演する事となりました。講演には診療准教授(病棟医長)の北村先生や診療准教授(外来医長)の近藤先生、大学院生、医学部生など約20名参加されていました。実はこの講演の依頼を受けたのは当日の昼食中。バタバタとプレゼンを作成し講演となりました。

当院の紹介から始まり、当院で行っている ACL 再建術のテクニック、問題点や今後の課題などを発表されました。安田教授からはもちろん、他の先生方からも質問やアドバイスを頂き、ハイレベルなディスカッションに参加する事ができました。ここでも貴重な経験となりました。

●安田教授との会食



手術見学を終えた夜は、安田教授との会食をさせて頂きました。

安田教授は私たちに「あなた方は一騎当千って解りますか？」と投げ掛けられ、その意味を熱く語って頂きました。

教授はこの言葉を「私たち」に掛けて話しをして頂き、そんな存在のスタッフがいることで「強力な組織作り」に繋がることを熱く語って頂きました。沢山の知識や技術という武器をもった一流の存在でありたいし、そうゆうスピリッツを持ってこれからも仕事に望みたいと痛感しました。

●余談



●感想

私たちは、過去5年間安田式のACL再建術を元に実施してきました。この手術法が発信された拠点の手術を生で見るチャンスが来ることはとても貴重なことであり、とても刺激になりました。また手術を改めて振り返るいい機会となり、学会や論文だけでなく、生の手術を見せて頂く事でとてもいい勉強になったと思います。そして世界に誇れるドクターのられ、膝専門をより追求する為に絶え間なく努力が必要であると改めて痛感し、私自身も研究発表も視野に入れ、邁進していきたいと思えます。

とても充実した時間を過ごす事が出来ました。貴重な経験を頂きありがとうございました。

看護師 樋口

今回、大学病院で手術・施設の見学をさせて頂き、クリニックとは違う医療施設・現場だと感じました。他施設を見学する機会は少なく、とても新鮮でした。

安田先生の手術を実際に自分の目で見る事ができ、すごく勉強になりました。

手術後には、セミナーの時間を取って頂き、安田先生がこれまで研究されてきたデータを含めて、ACL再建術についての講演をして頂きました。数々の研究がなされ、多くの意見がなされている中で、安田先生の意見を聞くことができ、まだまだ知識不足な点を痛感しました。食事会では、医学的な話しだけでなくさまざまな分野の話しをして頂き、とても有意義な時間を過ごしました。医療人として、社会人として多方面を見て、考えることのきっかけを与えて頂いたように感じます。

今回の研修で見たこと、得たこと、感じたこと、数多くありますが、今後の治療に役立てていければと思います。そして、PTとして何が必要なのか、何をすべきなのか、常に向上心を持って患者さんと医療と向き合っていきたいと思えます。

今回の研修では、本当に貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

理学療法士 池田